

みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。



商工会「第5回事業再開検討委員会」が開催されました

12月15日、第5回事業再開検討委員会が開催されました。

- ◆議事1 浜通り再生に向けた浪江町のあり方
浜通りの産業基盤の再構築のために政府が重要施策として位置付けた、イノベーションコースト構想の主要プロジェクトを見据え、双葉郡北部の復興拠点として町が取りまとめた「浜通りの再生に向けた浪江町のあり方」を町職員から説明し、被災地での産業を取り巻く現状の理解を深めました。
- ◆議事2 南相馬市の商業の現状と課題
あぶくま信用金庫浪江支店より、特に小高区での現状の紹介がありました。
- ◆議事3 資金調達に関する概略説明
商圈を喪失した小売業者の再開に有効と解される町外コミュニティの形成においては、住居確保が大きな課題となります。その資金調達の手法として、ファンドを形成・運用している(株)コミュニティネットより、仕組みや関係法令の説明がありました。
- ◆議事4 これまでの課題整理と今後の方向性
会員である事業者の再開状況、再開した事業者による事例発表、国の動きや補助事業、相馬郡の現状、浪江町の現状などにより浮き彫りになった課題の解決策を模索していくため、今後は町外と町内の分科会を置き、それぞれの事業再開に向けた検討をしていくことを確認しました。

問 産業・賠償対策課商工労働係
TEL 0243(62)1106

なみえの あの店この店

ふるさとを離れ、ふるさとを想いながら避難先であらたにスタートした企業・店舗の皆さんを応援してください。

掲載ご希望の企業・店舗の方は、ご連絡ください

四季菓匠長岡家

長岡善十郎
〒969-6556
福島県河沼郡会津坂下町字逆水23-2
TEL 0242(93)5585

問 復興推進課情報統計係 TEL 0243(62)4731

ここからは広告です。

エコドライブ、美しい環境とモビリティの楽しさを次世代へ。

双葉ホンダモーターズです。本宮店・須賀川森宿店でお待ちしております。

ストリート
スモール
N-BOX SLASH 誕生。

※詳しくは各店スタッフまでお問い合わせください。

Honda Cars 福島県央 本宮店
〒969-1165 本宮市本宮字中台21 営業時間 9:00~18:30 毎週火曜定休
TEL 0243-24-8188

Honda Cars 福島県央 須賀川森宿店
〒962-0001 須賀川市森宿字日向29-12 営業時間 9:00~18:30 毎週火曜定休
TEL 0248-76-3115

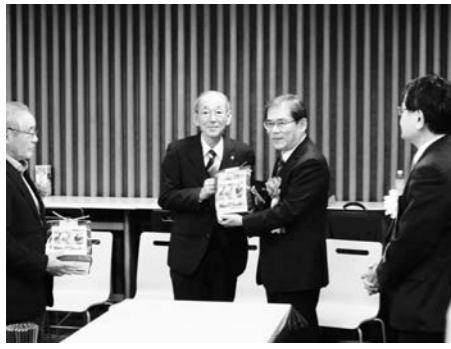
町の農業・水産業 再生に向けて

東京大学で試食会を行いました

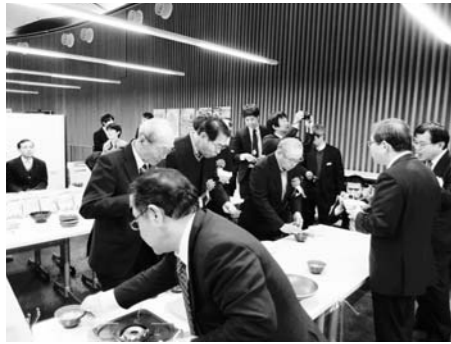
1月16日、浪江町で収穫された米が東京大学の本郷中央生協食堂に提供され、試食会が開催されました。

東京大学と浪江町は支援協定を結んでおり、水稻実証栽培が行われた酒田地区の農地の地力回復など、東京大学農学部や東京大学アイソトープ総合センターからご支援、ご協力いただいています。

当日は、馬場町長、鈴木組合長(酒田農事復興組合)、生産者の松本さんから、東京大学の濱



新米の贈呈



炊き立てのご飯を試食

田総長、アイソトープ総合センター児玉センター長、東京大学生活協同組合武川理事長へ米を贈呈し、その後、炊き立ての白い匂いが広がる食堂内で、共に白いご飯を試食しました。

馬場町長は「一年一年が本場に大切。これからが正念場。町が再生できるよう頑張っていく」と、松本さんは「米作りは一年一年が大切。技術の低下、通作による管理で非常に心配だったが、良い米ができたと思っている。浪江町での米作りの技術を次の世代に繋げたい」、濱田総長は「美味しいご飯をいただきながらパワーをもらい、そのパワ

をお返しし、その繰り返しが続いていけばと思う。これからも引き続き支援していきたい」とそれぞれに決意を語りました。今後ともご支援いただいている関係機関との連携を強化し、ふるさと再生に向け協働していきます。

「新しい水産業デザイン 実現化事業」 ワーキンググループ 会議を開催しました

日時
平成26年12月9日

場所
相馬市岩子
相馬双葉漁業協同組合事務所

事業名
浪江町の新しい水産業デザイン実現化事業

本ワーキンググループは、請戸地区の水産業に中心的に関わり、将来の水産業を担っていく強い意志のあるメンバーで構成され、新たな水産業の実現に向けた様々なアイデアや活動案等を協働で実行していく組織です。今回は、平成24年10月から活動を開始し、これまでに行われた事業の報告がありました。

①市場調査や消費者意識等調査



ワーキンググループ会議の様子

- 報告
- ② インターナショナルシーフードショーの出席報告
 - ③ 新しい漁法として、資源管理、作業の効率性を見据えた底建網漁業と、沖合に更に漁場を拡大するための曳き縄漁業等への取組みと実施報告
 - ④ 新たな高度衛生管理型の市場の検討や衛生管理方法の講習開催
 - ⑤ 放射線検査方法や機器に関する調査
 - ⑥ 漁協女性部が行った商品開発や商品販売促進等の報告
- 請戸地区で漁業再開するための意見として、漁港復旧に併せ

た生活インフラの整備、請戸地先での試験操業再開、漁港周辺の土地利用計画の作成・提示などの要望があり、これまでの本事業の再確認と認識共通化を図りました。

本事業の今後の取組みとして、ハード面では、請戸漁港関連施設の復旧などの整備計画の策定を推進。ソフト面では、本格的に漁業が行われる時期を目指した、市場の構築や、雇用創出等も視野に入れた商品の開発・販売の計画を策定し、雇用創出等の課題に対して、水産業関係者と協働して取り組む予定です。

問 産業・賠償対策課農林水産係
TEL 0243(62)1107